

令和7年6月定期総会 第12期事業に関する説明

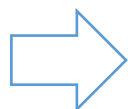
特定非営利活動法人 産学連携学会
12期会長候補 小野浩幸



第12期運営の基本

『温故 刷新』

(20年の歴史に真摯に向き合い
学会・学会員発展への改革)

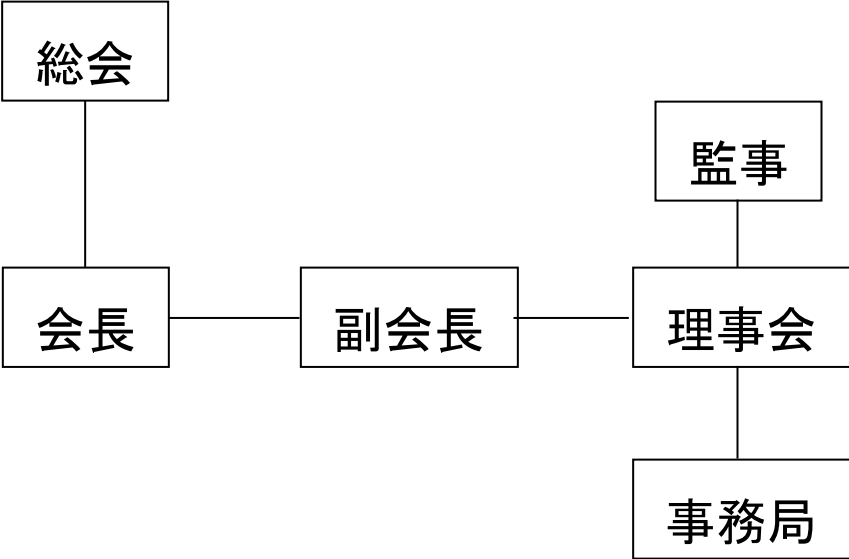


産学連携学会の蓄積を活かし、
会員と学会のアピアランスを高める

第12期産学連携学会 5つの柱

1. 政策担当者とのパイプの強化・再構築
⇒ 省庁等との関係強化、提言、政策・施策情報の会員向け発信
2. 学会誌投稿・査読システム改革
⇒ 査読のスピードアップと投稿前論文サポートの創設
3. 会員数増強のための広報の強化
⇒ 学会ホームページのリニューアル、必要な情報を届ける機能の強化
4. 国際比較研究の強化
⇒ 日韓ワークショップの日本開催、他学会や国際組織等との交流
5. 重要事業の積極予算と選択と集中による経費の削減

【組織図】



5つの新しい委員会を創設
既存委員会にも新たなミッション

主な分担業務

総務委員会	総会・理事会の運営 規程・事業・予算の管理
将来構想委員会	会員数増に向けた将来計画 研究会活動の強化
政策研究・交流委員会	省庁等との関係強化 政策情報の会員向け発信
学会誌編集・改革委員会	学会誌編集 査読システム改革
論文サポート委員会	会員の論文投稿のサポート
広報委員会	ホームページのリニューアル 会員増強のための広報展開
大会準備委員会	研究大会の円滑な開催
テキスト改訂委員会	テキスト「産学連携入門」の改訂
国際比較研究委員会	日韓ワークショップ開催 国際比較研究の促進

第3号議案:令和7年度事業計画

1. **大会の開催:**第23回大会(函館大会)を6月19日～20日に開催
2. **学会誌の発行:**「産学連携学」を年2回発行(電子版)
3. **論文サポート委員会を設置:**学会誌投稿論文のサポートを開始
4. **政策研究・交流委員会を設置:**省庁との関係強化と政策情報発信の強化
5. **テキスト改訂委員会を設置:**産学連携学入門の改訂新版の編集
6. **広報の強化:**学会HPをリニューアル、会員向け情報機能強化
7. **メールニュースの発行:**随時
8. **第8回日韓ワークショップ:**群馬県渋川市にて開催(10月16日～17日)
9. **国際比較研究委員会:**韓国産学協力学会など他学会との連携交流や研究会活動を通じて国際比較研究の強化
10. **電子アーカイブの閲覧提供:**旧共同研究センター年報アーカイブを閲覧提供

9. 支部活動:

- ・北海道支部: 東日本リエゾンカンファレンスを開催、産学官連携交流のためのリエゾン交流セミナー等の開催、支部HP 運用
- ・東北・北関東支部: 東日本リエゾンカンファレンス(岩手県八幡平市7月4日～5日)を開催、地域活性学会と連携したシンポジウムを秋季に実施予定
- ・中部・北陸支部: 幹事会の開催、イグ・イノベーションコンテスト事業の検討、セミナーもしくはイベントを実施予定
- ・関西・中四国支部: 第17回研究・事例発表会(12月11日～12日)を開催
(場所:岡山市)、幹事会(令和7年5月、9月、12月、令和8年3月)の開催を予定
- ・九州支部: 産学連携ネットワーク会議で半導体産業との連携手法や新たに生じる地域課題を題材としたセミナーを開催、幹事会の開催を予定

10. 研究会活動:

- ・オープンイノベーション研究会:シンポジウムの検討
- ・リサーチ・アドミニストレーション研究会:全国大会におけるオーガナイズドセッション(令和7年6月)および研究会(令和7年12月、もしくは令和8年2月頃:オンライン)を開催予定、研究会幹事会の開催
- ・地域社会実装研究会:「オープンイノベーション」「地域資源活用認定制度」をテーマとして研究会(3回程度)の開催
- ・ESD研究会:「奈良SDGs学び旅」というテーマで地域連携教育研究会と合同でシンポジウムを開催予定
- ・行動経済学・社会システム研究会:月例会合の開催(オンライン)、地域産学官連携事業におけるキーパーソンと主要なステークホルダーや大学等との人的ネットワークの実態調査結果をもとに、人を中心としたコーディネートモデルとして理論モデルの構築を図り、その成果を学会、論文等で公表予定
- ・日韓比較研究会:韓国産学協力学会とオンライン会議等による連携強化、日韓ワークショップの開催支援(令和7年10月16日～17日 群馬県渋川市)
- ・イグ・イノベーションコンテスト(事業)研究会:函館大会オーガナイズドセッション「イグイノベーションコンテストIIC研究」を中部・北陸支部と合同で開催、イグ・イノベーションコンテスト事業の実施に向けた検討
- ・地域連携教育研究会:「企業を核とした大学と地域との連携の実際」をテーマに研究会(3回:オンライン)の開催、函館大会にてオーガナイズドセッションの開催

第4号議案：令和7年度事業予算計画

別紙資料－6

科目		金額（単位：円）		
収入				
1. 会費収入				
	会費	4,400,000		
	入会金	150,000	4,550,000	
2. 事業収入				
	研究事業	3,000,000		
	啓発事業	600,000		
	講演事業	600,000	4,200,000	
当期収入合計（A）				8,750,000
支出				
事業費				
	研究事業	3,500,000		
	啓発事業	3,500,000		
	講演事業	539,000	7,539,000	
管理費				
	事務局委託料	3,090,000		
	通信費	320,000		
	支払手数料	120,000		
	減価償却	20,000	3,550,000	
当期支出合計（B）				11,089,000
当期収支差額（A）－（B）				- 2,339,000
前期繰越収支差額（C）				4,707,304
次期繰越収支差額（A）－（B）＋（C）				2,368,304

令和6年度の実績をベースとした収入見込み。

令和6年度実績に準じた額を見込む。
人材開発事業や学会誌販売等の事業収入確保に継続的に取り組む。

研究大会（函館）の開催、学会誌発行に加えて、
未執行重要事業のための予算を積極計上
①電子アーカイブ 50万円
②ホームページのリニューアル 100万円
③産学連携入門の改訂 100万円

管理費は前年度同

2,339千円の赤字予算